

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

国語

教科：国語

科目：国語表現

単位数：2

対象学年組：第3学年 A組～F組

教科担当者：（A組：中村）（B組：中村）（C組：中村）（D組：古屋）

使用教科書：（大修館 国語表現、大修館 国語表現 ワークブック

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考え

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたいと意欲的に取り組むとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使

科目 国語表現

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		
			話・聞	書	読
1 学期	多様な視点を養おう 【知識及び技能】 (1)ウ、エ 【思考力、判断力、表現力等】 A(1)ウ、エ、カ	・人によって物事の感じ方に違いがあることを理解し、多様な視点を知る。	○	○	○
	進学・就職試験に向けた作文、小論文練習 【知識及び技能】 (1)イ、ウ、オ 【思考力、判断力、表現力等】 A(1)ア、イ、ウ	・実社会の問題に関する情報を収集し、情報を整理し、読み手に分かりやすく伝える方法を身につける。			

			○	○	・目的や場に応じて中から話題を決め、を収集、整理して、 ・自分の主張の合理性をいとともに、本など、話の構成や月 ・自分の思いや考るなど、話の構成
	進学・就職試験に向けた作文、小論文練習 【知識及び技能】 (1)イ、ウ、オ 【思考力、判断力、表現力等】 A(1)ア、イ、ウ	・実社会の問題に関する情報を収集し、情報を整理し、読み手に分かりやすく伝える方法を身につける。	○	○	【知識及び技能】 ・話し言葉と書き言葉の理解を深め、伝えあえる表現や言葉遣いを増し、話しや文書の内容を豊かにすること。省略や反復などの表現。(1)～オ 【思考・判断・表現力等】 ・目的や場に応じて中から話題を決め、を収集、整理して、 ・自分の主張の合理性をいとともに、本など、話の構成や月 ・自分の思いや考るなど、話の構成
2学期	実社会に必要な能力を養おう 【知識及び技能】 (1)イ、オ 【思考力、判断力、表現力等】 A(1)エ、オ、カ	・敬語などの言語表現の学習 ・社説、エッセイ等多様な文章に触れ、次の進路に向けた知識を獲得する。	○	○	○ 【知識及び技能】 ・話し言葉と書き言葉の理解を深め、伝えあえる表現や言葉遣いを増し、話しや文書の内容を豊かにすること。省略や反復などの表現。(1)～オ 【思考・判断・表現力等】 ・相手の反応に応じて材料や機器を効果的に使い分けたりするなど、工夫すること。(1)～カ ・論点を明確にして内容や構成、論理の展開の仕方、表現の仕方を評価し、自分の考えを広げたり深めたりすること。 ・視点を明確にしてえたり、相手の思い考えを引き出したりえたり深めたりすること。(1)～カ

3 学期	実社会に必要な能力を養おう 【知識及び技能】 (1)イ、オ 【思考力、判断力、表現力等】 A(1)エ、オ、カ				【知識及び技能】 ・話し言葉と書き言葉の理解を深め、伝えあう表現や言葉遣いを工夫すること。 ・省略や反復などを用いて、相手に伝わりやすくすること。(1)－オ 【思考・判断・表現力等】 ・相手の反応に応じた言葉遣いや材料や機器を効果的に用いたりするなど、工夫すること。(1)－ ・論点を明確にして、内容や構成、論理の順序、表現の仕方を評価し、自分の考えを広げたり深めたりすること。 ・視点を明確にして伝えたり、相手の思いや考えを引き出したり深めたりすること。(1)－カ



科目 国語表現

単位

(E組：古屋) (F組：古屋)
)

し適切に使っている。

域に おいて、生涯にわたる社会生活 におけ
しを広げたり深めたり している。

りしながら、言葉のもつ価値への認識を深め
うとして いる。

【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価規準	知	思	態	配当 時数
えを多彩に表現するために必要な語句量の中で使うことを通して、五感を磨き語彙を(1)-ウ どの種類や特徴、構成や展開の仕方などになること。(1)-エ 見】 えが伝わるよう、具体的例を効果的に配置 或展開を工夫すること。A (1)-ウ て言葉を選んだり、場の状況に応じて資 こ用いたりするなど、相手の同意や共感が 見を工夫すること、A (1)-エ て聞きながら、話の内容に対する共感を伝 いや考えを引き出したりする工夫をして、 を広げたり深めたりすること。A (1)-カ	○	○	○	10
言葉の特徴や役割、表現の特色について理 る目的や場面、相手、手段に応じた適切な 理解し、使い分けること。(1)-イ 見を多彩に表現するために必要な語句の力 草の中で使うことを通して、語感を磨き語 と。(1)-ウ 表現の技法について理解を深め使うこと。				

て、実社会の問題や自分にかかわる事柄の他者との多少な交流を想定しながら情報伝え合う内容を検討すること。A (1)-ア里性が伝わるよう、適切な根拠を効果的に相手の反論を想定して論理の展開を考える展開を工夫すること。A (1)-イえが伝わるよう、具体例を効果的に配置すや展開を工夫することA (1)-ウ	○	○	○	14
言葉の特徴や役割、表現の特色について理る目的や場面、相手、手段に応じた適切な里解し、使い分けること。(1)-イ見を多彩に表現するために必要な語句の力革の中で使うことを通して、語感を磨き語と。(1)-ウ表現の技法について理解を深め使うこと。 見】 て、実社会の問題や自分にかかわる事柄の他者との多少な交流を想定しながら情報伝え合う内容を検討すること。A (1)-ア里性が伝わるよう、適切な根拠を効果的に相手の反論を想定して論理の展開を考える展開を工夫すること。A (1)-イえが伝わるよう、具体例を効果的に配置すや展開を工夫することA (1)-ウ	○	○	○	24
言葉の特徴や役割、表現の特色について理る目的や場面、相手、手段に応じた適切な里解し、使い分けること。(1)-イり表現の技法について理解を深め使うこ 見】 て言葉を選んだり、場の状況に応じて資こ用相手の同意や共感が得られるように表現をエて自分の考えと比較しながら聞き、話の内展開、ずるとともに、聞き取った情報を吟味してこり(1)-オて聞きながら、話の内容に対する共感を伝いやりする工夫をして、自分の思いや考えを広るこ	○	○	○	4

言葉の特徴や役割、表現の特色について理解する目的や場面、相手、手段に応じた適切な理解し、使い分けること。(1)-より表現の技法について理解を深め使うこと				
【見】 て言葉を選んだり、場の状況に応じて資 活用 相手の同意や共感が得られるように表現を に て自分の考えと比較しながら聞き、話の内 展開、 するとともに、聞き取った情報を吟味して 取り (1)-オ て聞きながら、話の内容に対する共感を伝 いや りする工夫をして、自分の思いや考えを広 るこ				
	○	○	○	4
				合計

